

処遇改善のための予算を

全建総連／中央省庁交渉



国土交通省・建設産業局との交渉

国土交通省 冒頭に長野県建設労連の参加者から、建設を終えた応急仮設木造住宅について報告。各地から支援に入った組合員が事故なく作業を進め、間もなく引き渡しと述べるとともに、災害時に地元工務店が果たす役割を再認識し、今後は人手不足を解消するCCUSに注力していくと決意を示した。

全建総連側からの要請に対する返答として、設計労務単価について、設計労務単価アップへ

省・局 国産 国建 CCUSを推進 設計労務単価アップへ

CCUS に関して、民間制度ではあるもののシステム開発に国費を投入するなど「事実上の公的制度」との認識を示した。制度を高く認識を促すことについて「重要な対応」、一般消費

参加者からは、新・担い手三法の改正をうけ、無理な工期設定が改まるよう要請。省側は「適正工期の基準を検討中」と返答した。CCUSと処遇改善の連動について「価格交渉力をつけるシステム」と認識。下請から請求する運動をしてほしい」と回答がありました。

職業安定局は松本副委員長を団長に11人が参加。職業安定局建設・港湾対策室からは、竹内室長ら4人が対応しました。建設事業主に対する助成金の必要額確保を中心として、能力評価制度を活用し処遇改善を図った事業主への支援拡充など4本の要請項目について意見交換を行いました。



厚生労働省・保険局との交渉

必要予算 確保に努力 仲間からは、未公表の2018年度所得調査について「来年度の補助金に影響する

大きな話。算定に必要な係数は早めにして欲しい」との訴えがされ、「保険料設定にも影響する。年末の予算編成通知の中に盛り込むかも含めて検討していきたい」。厳しい減額措置となった特定健診等補助金では「健診実施率が70%以上に到達しているのに減額されるのは問題。単価と総額を満額確保し、減額措置が必要ないようにしてほしい」との求めがあり、「所管する医療費適正化対策推進

室と共に予算の確保に努めていきたい」。最後に松尾社保対部長からは、「われわれは日雇健保の頃から何度タックルを受けても立ち上がってきた。ハガキは一人一人の闘いで切実な願い。受け止めて欲しい」との求めがあり、森山補佐は「年末まではまだ時間はある。必要予算を確保できるように努力していきたい」との決意が表明され、参加者は激励の拍手を送り、終了しました。

厚生労働省・職業安定局との交渉 職業安定局は松本副委員長を団長に11人が参加。職業安定局建設・港湾対策室からは、竹内室長ら4人が対応しました。建設事業主に対する助成金の必要額確保を中心として、能力評価制度を活用し処遇改善を図った事業主への支援拡充など4本の要請項目について意見交換を行いました。

保険局 要請は国と組合のスクラム ハガキは局も後押し

中西副委員長を団長に42人が参加、保険局からは森山国保課長補佐ら3人が対応しました。ハガキ要請の感想を求められ森山補佐はラクビーW杯の

話を交え、「試合を現地観戦したハーフタイムに要請のことを思い出した。要請は正に国と皆さんのスクラム」。こうした場合時にはぶつかり、意見交換をする中で一生

懸命押し合うことが医療保険制度を良くしていくことに繋がる。また、ハガキは全建総連の要望を後押しするものと思っていたが、実は私たちが後押ししてくれているものと改めて感じた」と語りました。2020年度予算編成に向けては「医療保険部会で『診療報酬改定の基本方針』が示され、概ね固まると考えられている」。裁量的経費については「財政当局の対応は厳しい。前年比9割で概算要求していない項目については切り込まれる可能性がある」としながらも、「必要性を強調していきたい」と答えました。

環境省 環境省からは、鈴木木副委員長 佐ら担当官4人が対応しました。環境省からは、水・大気環境局の秋山課長補佐ら担当官4人が対応しました。

環境省 環境省からは、鈴木木副委員長 佐ら担当官4人が対応しました。環境省からは、水・大気環境局の秋山課長補佐ら担当官4人が対応しました。

環境省 石綿対策費を増額 ばく露防止策を強めよ



環境省との交渉

環境省からは、鈴木木副委員長 佐ら担当官4人が対応しました。環境省からは、水・大気環境局の秋山課長補佐ら担当官4人が対応しました。

環境省からは、鈴木木副委員長 佐ら担当官4人が対応しました。環境省からは、水・大気環境局の秋山課長補佐ら担当官4人が対応しました。

省・局 厚職 レベル2、3に対して 助成検討したい

厚生労働省・職業安定局との交渉 職業安定局は松本副委員長を団長に11人が参加。職業安定局建設・港湾対策室からは、竹内室長ら4人が対応しました。建設事業主に対する助成金の必要額確保を中心として、能力評価制度を活用し処遇改善を図った事業主への支援拡充など4本の要請項目について意見交換を行いました。

厚生労働省・職業安定局との交渉 職業安定局は松本副委員長を団長に11人が参加。職業安定局建設・港湾対策室からは、竹内室長ら4人が対応しました。建設事業主に対する助成金の必要額確保を中心として、能力評価制度を活用し処遇改善を図った事業主への支援拡充など4本の要請項目について意見交換を行いました。

詰将棋の解答 3一歩成△一玉 2一と △同玉 3一銀不成△一玉 1一玉 2一銀成△同玉 3二香成△一玉 2二成香まで15手詰。